

2020年度（2020/4～2021/3）事業報告書

公益社団法人 日本動物福祉協会

1. 環境

2020年度は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、4月に緊急事態宣言が発出され、7月に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックも翌年へ延期されました。秋になり感染者数は再び増加、2021年1月に至り2度目の緊急事態宣言が発出され、社会活動の長期停滞を余儀なくされました。コロナ禍に伴う活動自粛により、当協会の活動は一部制約を受けましたが、啓発活動において動画配信体制を整備した結果、視聴者層は全国に広がり活況を呈しました。また、事務管理面においても、決済の非対面・キャッシュレス化や多様化を図り、ウィズコロナ時代に対応した管理基盤を強化することができました。

2. 会員の増減

(1) 個人会員（終身・維持・賛助・青少年）

2020年度末の会員数は2335名（内 終身133名・維持207名・賛助1974名・青少年20名・名誉1名）と、自然退会を主因に、前年度比402名減少した。今後とも会員への訴求力を高め、地道な会員獲得努力を続ける所存である。

(2) 法人会員

2020年度末の法人会員数は27社で、前年度比1社減少した。

3. 募金・寄附活動

(1) 継続的寄付の取り組み

引き続き継続的寄付の増強に取り組み、企業やスポーツ選手による社会的貢献活動の一環として、当協会への継続的な寄付が増えた。

(2) 慈善ビンゴ会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3月に予定されていたビンゴ会は取り止めとなった。

(3) 動物カレンダー

カレンダーは2000部作成し、募金額は283万円であった。

(4) グッズ販売等

新たに開発したグッズも含めオリジナルグッズの販売を行ない、25万円の売り上げとなった。

4. 動物福祉事業（不妊去勢手術助成、動物救護）

(1) 不妊去勢手術の奨励のため、従来の「いぬねこ不妊去勢推進キャンペーン」（当年度対象地域：福島、徳島、大分県）に加え、当年度も会員を対象とした「JAWSのら猫キャンペーン」を実施した。不妊去勢手術助成対象総頭数は本部3141頭、支部1752頭、計4893頭となり、助成金総額は2533万円とな

った。

- (2) 人獣ワンヘルス・ワンウェルフェアの観点から、現地行政と連携し、多頭飼育崩壊現場における人の福祉と動物の福祉を一体的/総合的に支援するプロジェクトに従事し完遂した。
- (3) 海外の保護団体等からの支援も得て、多頭飼育崩壊事案支援や TNR 活動等の保護・譲渡活動に注力した。動物救護費は1342万円であった。
- (4) 各自治体の動物愛護推進協議会等に参画し、動物愛護推進計画や緊急災害時の動物救護体制の策定に協力した。
- (5) 動物虐待に関し、専門家が獣医学的および法律的な見地からアドバイスする、動物行政のための相談を継続的に実施した。
- (6) 法獣医学研究会、日本動物福祉学会の幹事として動物福祉学発展に尽力した。

5. 啓発・教育及びPR活動

- (1) 新型コロナウイルス感染を避けるべくセミナーのオンライン化を推進し、全国における視聴者ベースを拡充した。
- (2) 収容された動物の環境問題等を取扱う「シェルターメディシンセミナー」をオンラインで2回開催し、獣医師、自治体職員やシェルター関係者に加え、多くの市民の方が視聴した。
- (3) 近年動物虐待が増加する中、虐待を見逃ごさず科学的に診断できる獣医師を増やすことを目的に「法獣医学研修会」をオンラインで2回開催した。
- (4) 一般市民を対象にした「動物福祉市民講座」をオンラインで9回配信し、動物福祉概念の普及に努めた。
- (5) 動物福祉普及啓発動画を5本作成し、YouTubeにおいて常時公開した。
- (6) 新しい飼い主探しの活動を充実させるべく「里親マッチング」サイトを設け、実績を向上させている。
- (7) 「人と動物も幸せに～考えよう、共にくらす社会～」をテーマとした動物愛護週間中央行事（屋外行事はコロナ感染予防のため中止）に参画した。
- (8) 青少年に対する啓発事業として「第61回動物愛護の作文コンテスト」を実施、1084篇の応募があった。
- (9) 広報誌「JAWS REPORT」を年2回発行し、行政や各自治体の関係部署・獣医師会・動物愛護団体等に配布、国内外の動物福祉情報の周知に努めた。
- (10) 教育や啓発活動に注力し、関連費用は638万円となった。
- (11) 読売巨人軍「岡本和真ハピアニプロジェクト」において、岡本選手が当協会の動物福祉活動を支援いただけることになった。

6. ウィズコロナ時代における管理体制の整備

新型コロナウイルス感染拡大を避け、また利便性を高めるために、職場のテレワーク導入や決済のIT化（非対面・キャッシュレス）を図った。 以上